

超軽量衛星搭載用展開アンテナ設計技術の研究（三菱電機株式会社） 平成17年度採択評価結果

点数		合計点数	総合所見
技術評価	41	77	<p>今回提案課題となっているメッシュ型展開アンテナは、日本としてオリジナルティがあり世界的にも誇れる技術である。20mクラスの超大型衛星搭載アンテナの開発は、剛性の問題や材質の点で非常に難しいものである。今回の提案は非線形の座屈モードも含めて解析を行い、積極的に利用しようという試みである。この設計法が確立できるならば、従来の10mクラスのアンテナも軽量、低コスト化が図れ、日本の衛星だけではなく他国の衛星への搭載も期待できるため、国際的なリーダーとして力を維持していくためには重要である。</p> <p>超軽量反射鏡面が実現した場合、衛星ブロードバンドの価格破壊、災害等に備えた通信経路の多重化、現行の有線ブロードバンド網がカバーしていない地域へのブロードバンドサービスの提供などが可能になり、経済社会に大きな波及効果をもたらすことが期待される。本提案では、研究開発終了後4年目より超軽量衛星搭載用展開アンテナ販売事業を開始することが計画されている。提案者は関連事業における実績を有しているほか、収益計画についても、販売数量、製品単価、及び支出経費が類似製品販売実績をもとに算出されており、一定の収益納付が期待される。</p>
事業化評価	36		